研究助成の概要. III

① 非幹線道路ブロックエリア内におけるマクロ交通状態量に着目した交通事故リスク評価手法の開発

② 学校法人 日本大学　理工学部　交通システム工学科

③ 助教　兵頭 知

④ http://pubtrplan.trpt.cst.nihon-u.ac.jp/member/member.html

1. 研究分野及び題目

（Ⅰ－１）　DRMDB を利用した道路管理に該当する研究テーマ

（Ⅲ－５）　デジタル道路地図の利活用に関する研究

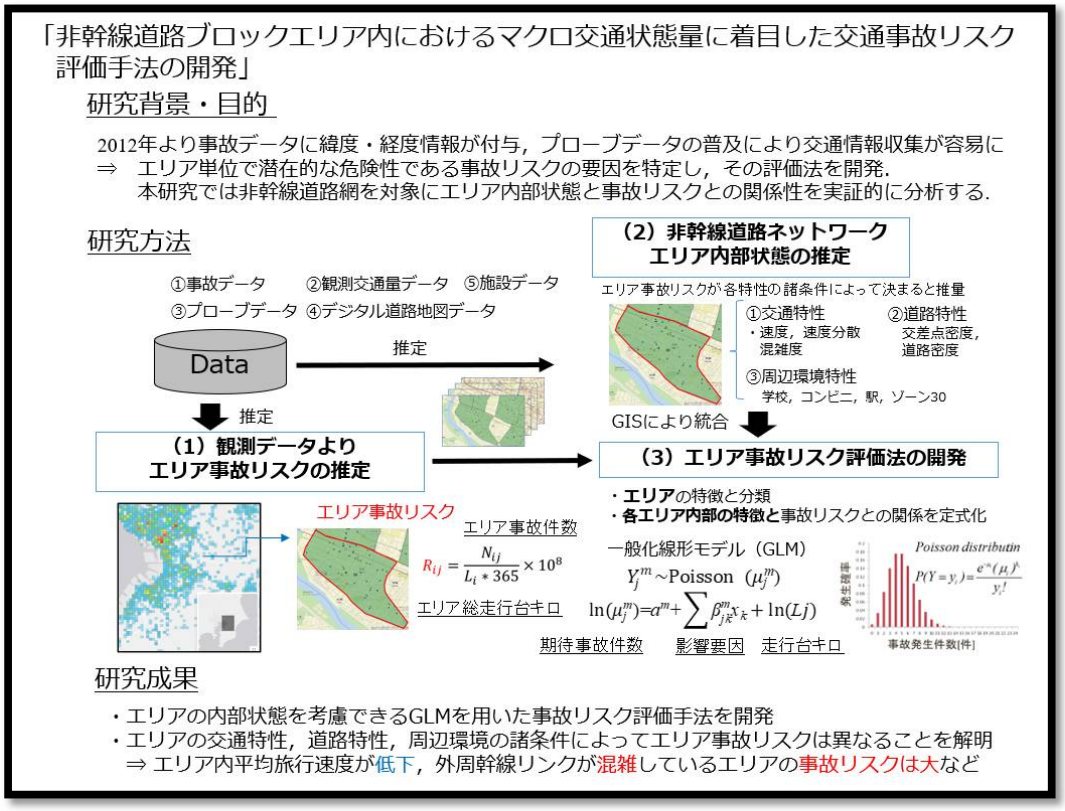
2. キーワード

非幹線道路、交通事故リスク、マクロ交通状態量、MFD、一般化線形混合モデル

3. 研究内容

(1) 研究の目的

非幹線道路、すなわち生活道路の交通安全向上を目指し、ハンプ、ボラードなど物理的対策に加え、ゾーン 30 などエリアマネジメント的な交通安全の取り組みも強化されている。しかし、その対象エリアの明確な基準はなくアドホックに選定されている可能性が高い。本研究では、生活道路ブロックエリア内のネットワーク交通流状態の視点から、交通事故の起こりやすさ（以下、事故リスク）を算定および評価する手法の開発を目的とする。

(2) 研究のゴール

本研究では、幹線道路によって囲まれたブロックエリア内の生活道路ネットワークを巨視的（マクロ）に捉え、同ネットワークのマクロ交通流状態とブロック内の交通事故の起こりやすさの関係を分析する。これにより、例えば、通過交通の多発などによる危険なエリアの交通流状態に関する定量的な条件を含めた交通安全対策を優先的に行うエリアを選定するための明確な基準を設けることを目的とする。